

まかえ 麻加江城跡を見学しました ～3月9日 早春フィールドワーク～

梅の花が満開となった3月9日、町内に残る中世の山城跡をめぐる早春フィールドワーク『麻加江城跡（麻加江）を歩く』を、麻加江区関係各位のご協力をいただき開催しました。

麻加江城は軍記や地誌類にその名が表れず、築城時期や存続年代、城主などのことはわかりませんが、宮川に面する段丘の端部には土塁や堀跡によって構成される郭（くるわ）や、いくつかの区画された居館跡が残る度会町内で最大規模の城館跡です。

当日は天候に恵まれ、町内外から定員を上回る32名の方々が参加、南北朝から戦国末期頃と考えられる麻加江城の遺構を巡りました。



御村精治さん（度会町文化財調査委員）による出土品の解説



まず出土品を見学（麻加江生活改善センター）



梅の花が満開の居館跡地を見学



主郭南側の切り岸（左）・土塁（中央） 北畠充生さん（地域資源と歴史文化を守る会会長）の案内と解説



開催期間 令和7年4月27日（日）～6月26日（木）の開館日
 開催場所 ふるさと歴史館 1階 多目的室

2月中旬の冬晴れの日、歴史館職員で鶴ヶ坂の古道を踏査しました。
 鶴ヶ坂は、国土地理院発行の2万5000分の1地形図に名前入りの小径として描かれている古道で、かつては宮川本流の鮠川・茶屋広から一之瀬川流域の中之郷とを結ぶ近道として、地域の人はもちろんのこと、遠方からの人々にも盛んに利用された里道でした。
 しかし、道路が整備され、徒歩交通から自動車交通主体へと移り変わると通行する人も少なくなり、次第にさびれていきました。いまやそのルートすら消え去ろうとしています。
 今回の展示では、上り口に残る道標や峠に祀られている役行者の石像などを取り上げ、消えゆく鶴ヶ坂の現状を写真パネルや地図で紹介します。

「なるほど！歴史講座」休講のお知らせ

毎年5月から翌年2月まで、毎月1回開催しております“なるほど！歴史講座”につきまして、本年度の講座は都合により休講とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。

（教育委員会）

編集後記

早春フィールドワークは今回で3回目となりました。多くの方々にご参加いただきありがとうございました。当日は十分に解説が聞けなかった等のご意見もいただきましたので、次年度はグループ分けなどの対策を講じ、より分かりやすく見学していただけるよう改善していきたいと考えています。来年度のお城めぐりにもご期待ください。

わたらいちょう

度会町ふるさと歴史館（三重県度会郡度会町中之郷1025 旧小川郷小学校内）



開館日 毎週木曜日（第5木曜日は休館）と第2・第4日曜日（年末年始除く） 開館時間 9時～16時
 問い合わせ・連絡先 〒516-2195 三重県度会郡度会町棚橋1215-1 度会町教育委員会
 TEL.0596-62-2422 FAX.0596-62-1647 kyoit@town.watarai.lg.jp